



「コロナウイルス禍の二条城」

いつまでも安心して住み続けられる地域を

- | | | |
|--|------|----|
| ・旧岩崎革也邸に残された文化財・史資料保存継承の取り組みから見てきたこと | 原田 久 | 2 |
| ・「新型コロナウイルス感染症」が明らかにした「住民によりそう自治体」の役割 | 松本隆浩 | 4 |
| ・HPから見る韓国の新型コロナ感染対策 | 池田 豊 | 6 |
| ・連載(21) 今を読み解く一枚 「1997年1月ナホトカ号重油流出事故」 | 池田 豊 | 8 |
| ・交流のひろば | | 9 |
| ・私の本棚 書籍紹介 「ファシリテーション・グラフィック」 | 柳生剛志 | 10 |
| ・続カメラ探訪 29 「新型コロナウイルス禍の2020年ゴールデンウィーク」 | 内野 憲 | 11 |
| ・事務局通信 | | 12 |



一般社団法人 京都自治体問題研究所 発行人 大田直史
〒604-0863 京都市中京区夷川通室町東入ル 巴町80
パルマビル 2F-D

TEL:075-241-0781 FAX:075-708-7042
Email:kyoto@kyoto-jichiken.jp
HP:<http://www.kyoto-jichiken.jp/>



「住民と自治」6月号付録

はじめに

今地域から史資料、建築物、伝統文化、自然など貴重な文化的財産が消えようとしています。これを防ぎ、後世にどう引き継ぐかは待ったなしの課題です。本稿では京都府船井郡京丹波町須知にあった旧岩崎革也邸（以下、旧革也邸）の史資料保存の取り組みを通して見てきたことを報告します。

1 旧革也邸とは

国道9号線で南丹市から京丹波町に入りしばらくすると京都縦貫自動車道の陸橋が見えてきます。自動車道は左手の山でトンネルに入りますが、その2本手前の巨大な橋脚が立つ場所に旧革也邸がありました。

岩崎家は江戸時代から造り酒屋を営む裕福な地主で、この家に一家を上げて入籍した松本藤三郎の長男として生まれたのが岩崎革也です。1869(明治2)年のことでした。彼は、長じて町長、府会議員、須知銀行頭取などを務め地域の名士となりますが、明治の社会主義者と親しく交わり、日露戦争に反対した平民社に多額の寄付をしたり、大逆事件で犠牲となった人たちの遺家族を慰問して回った堺利彦の旅費を用立てるなど、一般的な地方名士の枠に収まらない人物でもありました。

旧革也邸は、本宅の三面を広大な庭が囲み、そこには樹齢百年近い樅の大木が幾本もありました。庭の北西隅には革也が贅を凝らした庵、秋月庵があり、その一部は川に張り出していました。本宅に入ると広々とした土間があり、四本の太い檜の大黒柱が、むき出しになった巨大な梁を支えていました。上がり框(かまち)には長方体の大きな花崗岩の沓脱が置かれ、杉の一枚板の戸が土間と居間を隔てていました。座敷からは縁側の向こうに広がる庭を見ることができ、鴨井には犬養毅や田中正造が揮ごうした扁額などが所狭しと掲げられていました。

外から二階建てに見える本宅の内部は三階建てで、蔵を内蔵する独特の作りになっており、そこには調度類、着物類、古文書など

が納められていました。建物は築130年以上経過しているにもかかわらず隙間や狂いは一切なく、見学に訪れた建築関係者がその技術の高さに感嘆していました。また、1992(平成4)年に行われた邸内調査では、堺利彦、高島素之、幸徳秋水など著名な社会主義者から革也宛の多数の書簡類が確認され、専門の研究者に「これが正夢だろうか」というほどの衝撃を与えました。

2 旧革也邸撤去問題の発生と保存運動の開始

十数年前、当時無人となっていた旧革也邸が京都縦貫自動車道の延伸工事で撤去されるという話が持ち上がります。これを聞きつけた私たちは、「文化的価値が高い建物を残せないか」、「邸内の貴重な史資料の散逸を防ぎたい」、との思いで、京都丹波岩崎革也研究会を立ち上げました。6名の会員中5名は、旧革也邸の近くにある立須知高校に勤務した元教員です。

2012年初夏、会員の中から革也に関わる文化講演会を開こうという提案がなされます。盛夏の昼間に硬いテーマの講演会にどれだけの方が来られるか大きな不安が残りましたが、いざやってみると会場は百二十名を超える人たちで満員となりました。

気を良くした私たちは、旧革也邸保存の取り組みを始めます。その中心は、岩崎邸を移築し記念館として活用すること、邸内の史資料を調査整理して保存展示することというものでした。撤去の時期が迫っていただけに、建物調査及び邸内にある史資料、扁額、書籍、衣類、調度類などの調査と保存が急がれました。しかし、移築場所をはじめ、史資料などの保管場所や調査研究する場所、調査員も資金も何もかもが不足していました。

当時の切羽詰まった状況を『京都新聞丹波版』の記事から拾い上げてみます。『犬養毅や幸徳秋水と親交 京丹波の政治家 岩崎革也旧邸取り壊しへ』・・・歴史上の重要人物として岩崎を評価する動きが高まりつつあ

るが、現在、建物の保存や移築を具体的に検討する動きはない。」(2013年1月23日)、『「岩崎革也旧邸取り壊しへ 文化財保護の対応急務 古文書大量に確認 『大逆事件』資料も』・・・(邸内調査で)革也に宛てられた書簡類や私的な日記、幕末から明治期に至る岩崎家の文書など、貴重な歴史資料の存在が次々と確認された。調査に携わった井口和起・京都府立大学名誉教授(日本近現代政治史)は『取り壊しが迫り、緊急避難的に安全な保管場所を確保する必要がある。丹波と京都の歴史を知る上で、重要な資料が数多く含まれると思われ、大切な文化財産になるだろう』(2013年1月27日)、『「岩崎革也の古文書 預かって」京都の政治家・岩崎革也が生まれ育った京丹波町須知の旧邸から、地元関係者が大量の古文書を町中央公民館(京丹波町蒲生)に移した。幕末から昭和初期に至る貴重な資料が多数含まれており、劣化を防ぐための緊急避難という。関係者らは調査研究と保管ができる受け入れ先を探している。」(2013年2月25日)。

私たちは、旧革也邸の移築について岩崎家の方々の意向を尊重しながら、地元京丹波町の協力を探りました。町長さんはじめ町当局のみなさんは非常に協力的で、具体的な案も提示して頂きましたが、高額の移築費用や移築後の維持管理費がネックとなり移築は断念しました。

その後、京丹波町の協力で史資料の一時保管と調査のために町中央公民館の一室を借りることができ、ここを拠点に史資料の仕分け、目録作りなどに取り組みました。

調査活動と並んで、史資料や扁額、調度類などの移管先を見つける作業も続けました。京都市内の大学や公的資料館も検討しましたが、資料の分散を避け、一体的な保存を望まれた岩崎家の意向もあり実現しませんでした。最も望ましい地元京丹波町での一体的保管については、町からスペースを確保する旨の申し出がありましたが、湿気の遮断など保管上の問題、活用の困難さもあり断念しました。困り果てていたとき、革也の父の出身地である隣町の南丹市立文化博物館から受け入れの意向が示されました。この博物館は非常に整った資料保管庫を持ち、展示ス

ペースも整備されている上、専任の学芸員も配置されており、岩崎家当主長(ひさし)氏は史資料、扁額、屏風、調度類などほとんどすべてのものをこの博物館に寄贈されました。

3 保存活動を通して見えてきたこと

岩崎邸の建物は残念ながら解体処分されました。しかし、十分とは言えないまでも調査保存活動が行われ、貴重な史資料、扁額、書籍、衣類、調度類は廃棄を免れました。ただ、痛感したのは地域の貴重な文化財を保存し、整理し、展示できる施設や公的スタッフがあまりにも少ないという現実でした。

最後に、南丹市文化博物館に寄贈された史資料のその後について紹介します。博物館の全面的協力の下2018年3月、私たちの研究会は館内の展示室を借り受け、講演・展示会「丹波の先覚者岩崎革也」を開催しました。その後、博物館は収蔵品展「岩崎家と丹波」を行い、史資料の展示及び図録を作成します。更に博物館は私たちの研究会との共同研究で革也宛書簡の翻刻作業を行い、2020年3月には3冊目の「岩崎革也宛書簡集Ⅲ」を刊行しました。今後は「書簡集Ⅳ」の刊行が予定されています。

地域の貴重な史資料の保存とその後の一連の南丹市立文化博物館の取り組みは、地域の公的博物館のあるべき姿を示した素晴らしいものだと私は思っています。ただ、残念なのは博物館の職員は一人を除き、全員が非正規職員だということです。その一人、学芸員のIさんは古文書に堪能で、地域の人が読んでほしいと古文書を持ち込むほどです。しかし、彼は採用以来十数年間ずっと非正規のままです。

地域の文化財が大量消失の時期を迎えている時だけに、情熱を持った若い有能の方を正規職員として積極的に雇用していくことが切実に求められています。

「旧岩崎革也邸」



「新型コロナウイルス感染症」が明らかにした

「住民によりそう自治体」の役割

京都社会保障推進協議会事務局長 松本 隆浩

〇2日間で250人の市民から、切実な声

京都社会保障推進協議会（社保協）は5月9・10日に自由法曹団、京都総評・労働相談センター、京都民主医療機関連合会、全京都生活と健康を守る会連合会、京都府商工団体連合会とともに、「いのちとくらしを守る～新型コロナウイルス感染症・なんでも電話相談会」に取り組みました。相談会は、のべ50人のボランティア相談員が、2日間で250人の市民のみなさんの相談をお聞きしました。受付開始の10時から終了時刻まで電話が鳴り止まないという状況でした。

相談の内容は、給付・貸付が96件（38.4%）、生活関係が61件（24.4%）、雇用・労働が35件（14.0%）、医療が28件（11.2%）と続きます。いずれの相談も切実かつ、さまざまな分野にわたる内容でした。

〇いのち・くらし・雇用が危機的、一刻を争う状況も

相談者の職種も多岐に及んでいました



が、多かったのは、個人自営業者・フリーランスの方です。また、「持続化給付金はネットじゃないとだめなのか？」などの相談も多く、オンライン申請の問題も明らかになりました（5月14日に京都府で1カ所、電子申請支援会場が設置されましたが、間尺に合いません）。

「飲食店を4月に開業したんやけど」など、前年度収入のない方の相談。お花屋さんやカップ・トロフィー販売店など、休業要請対応業種ではないが、重大な影響を受けている方の相談。「もう7万円しかないんや」という方もおられました。いのちも暮らしも・雇用もまったなし、一刻を争う状況に追い込まれている市民が大勢おられます。

〇寄り添い型の相談会が成功した意味

一件の相談は、平均15分。長い方だと1時間を越えました。「会社の営業が悪化した。」、「社長が制度を知らない。熱が出て、自宅待機を言われ、有休を使えと言われた。」、「辞めたいが金がない。」など、給付・融資や雇用と生活保護、医療など、いろいろな問題が絡み合っており、しかも、具体的なアドバイスを必要とするものばかりです。また、さまざまな不満・不安を、「だれかに聞いてもらいたかった。」という方も少なくありません。

本来は、自治体がすべての市民の不安

や不満にしっかりと寄り添うこと。時間をとって、ゆっくりと話を聞けるようにすること。それが求められています。

今回の相談会では、（リストラなどにより）行政に欠けているものを提供できたのではないかと。多くの専門分野の方が集まり、しっかりと相談をお聞きし、具体的なアドバイスを行うということができました。特に京商連や生健会などからの後フォローも良かったと思います。これらのことが、私たちの相談会に電話されたみなさんが、「ありがとう。しっかり聞いていただいて、よかった」「こんどはいつやるのですか」と感謝していただいた結果になったと思います。

〇一人ひとりの市民の不安と不満に応えることと、施策を変えることと両輪で

相談会を通じて、暮らしを守る制度の不足、制度があっても使いづらいこと、

情報が必要とする人々に伝わっていないこと、制度のはざまがあることが明らかになりました。支援の手が差し伸べられていない人々にしっかりと光を当てる施策を緊急に具体化させなければいけません。

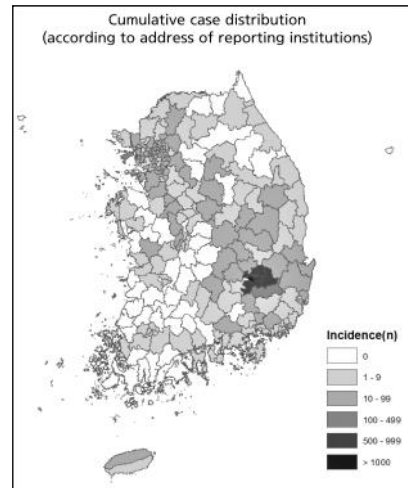
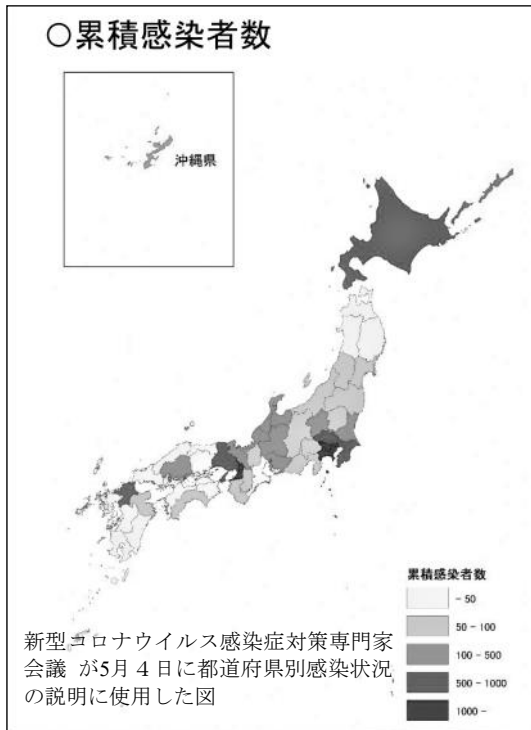
まだまだ多くの市民が困難に直面しています。さらに多くの方の相談を受けるために、2回目の電話相談会を予定します（6月13・14日）。次回は、青年・学生・子育て中の世代や障害者のみなさんからも相談をたくさん受けようと思います。また、オンライン相談会も具体化し、取り組んでいきたいと思っています。

ご支援を引き続き、よろしくお願いいたします。



5月9日、10日の電話相談とマスコミ取材

韓国の新型コロナ感染対策は、世界的に高い評価を得ています。しかし日本ではその詳細が報道され、生かされているとは言えないのが現状です。そこで韓国の自治体に着目して新型コロナ対策情報がどのように伝えられているのかをHPなどから紹介します



韓国疾病管理本部が毎週公表している「新型コロナ状況週報5月9日」より

韓国には特別市（ソウル）、特別自治市（世宗）、広域市（6市）、特別自治道（済州）、および8つの道のもとに基礎自治体があります。上記の感染状況の分布図は200以上の地域ごとの感染分布を表示しています。

日本の面積は韓国の約3倍です。日本の感染状況と対策は基本的に47都道府県単位でしか語られません。そこから地域の実情を細かく読み取るのは困難です。

京都府

ホーム > 健康・福祉・人権 > 健康・医療 > 京都府の健康対策 > 感染症緊急情報 > 新型コロナウイルス感染症に関連する情報について

ツイート 1,471

新型コロナウイルス感染症に関連する情報について

新型コロナウイルス感染症に関連する、京都府内での発生状況や様々な対応状況などについては、このページにおいて随時お知らせいたします。

英語ページ: [Information about 2019 Novel Coronavirus Infection](#)

中国語ページ: [新型コロナウイルス肺炎相关的信息](#)

京都府緊急事態措置

- 緊急事態措置（令和2年5月15日改訂）（PDF: 453KB）
 - 京都府緊急事態措置の緩和判断等に関する基準（PDF: 381KB）
 - 感染拡大予防ガイドライン（県）（PDF: 467KB）
 - 基本的に外出を要しない施設（PDF: 829KB）
 - 基本的に外出を要する施設（PDF: 695KB）
 - 5月16日0時から外出を制限する施設（PDF: 860KB）
 - 施設営業時間の短縮予定（令和2年5月15日）（PDF: 30KB）
- 緊急事態措置（令和2年5月5日改訂）
- 緊急事態措置（令和2年4月17日）
- 京都府緊急事態措置コールセンター（平日9時～18時）
電話番号: 075-414-5907

個人の方への情報

- 府民の皆さまへ【知事メッセージ（手話動画）】（外部リンク）
- 海外から帰国された皆さまへ
- 新型コロナウイルス感染症の予防について
- 専門相談窓口、帰国者・接触者相談センター
- 医療機関受診時の注意事項
- 労働相談窓口
- 就労活動中の学生や休業・失業で、就業先をお探しの方へ
- 休業や失業で、生活資金にお悩みの方へ
- こころの健康に不安を抱える方へ
- 京都府文化活動継続支援補助金（外部リンク）
- 府民の徴収費の特例制度

事業者等の方への情報

- 新型コロナウイルスに関する事業者向け支援制度（令和2年5月11日）
 - 中小企業緊急経営支援コールセンター（9時から17時 土日祝含む）
電話番号: 0120-555-182
 - 京都府休業要請対象事業者支援給付金について（令和2年5月7日）
京都府休業要請対象事業者支援給付金コールセンター（平日9時から17時）
電話番号: 075-706-1300
- 宿泊施設の方へ
- 労働相談窓口
- 農林水産業経営相談窓口
- 府民及び国税の徴収猶予の特例制度
- 京都府文化活動継続支援補助金（外部リンク）
- 採用活動が滞って、人材確保にお悩みの方へ
- 外国人技能実習生について（京都府職業能力開発協会HP）
- 外国人技能実習生について（外国人技能実習機構HP）
- 軽症者等の受入施設施設の募集（PDF: 81KB）
（募集は終了しました。御協力ありがとうございました）
- テイクアウトや宅配を始める飲食店の皆さまへ
- 企業の方向けQ&A（厚生労働省HP）
- 医療機関・検査機関の方向けQ&A（厚生労働省HP）

府内の発生状況等

- 府内の発生状況
- PCR検査の状況

京都府の新型コロナに関する情報HPは、府内の26自治体、京都市の行政区単位の感染者状況を容易にみることはできません。定量的な把握と理解が非常に困難です。

厚労省のHP同様に府や市の情報提供はテキストベースで、行政が発出した文書を中心に、時系列で積み上げているため、現状を地域単位でつかみ、全体の課題を探るには全く不十分といえます。

その典型は「府内の発生状況等」の項目で、その情報の整理、発信の仕方等を早急に改善の必要があります。

次ページで韓国の慶尚南道（日本の道府県に相当）のコロナ対策HPを紹介します。

(人口約344万人、基礎自治体18、面積 京都府の約2倍)

慶尚南道は、韓国南部に位置し、南は日本海、釜山広域市に接し、北は韓国における感染拡大のきっかけとなった新興宗教団体「新天地イエス教」の教会がある大邱広域市に接しています。

全斗煥、金泳三、盧武鉉、現職の文在寅など多くの大統領を輩出しています。

自己隔離対象者を住民が報告する申告
センターの連絡先一覧

慶尚南道にある87か所の新天地教会と
関連組織の住所一覧

新天地教会信徒の自主申告、および信徒情報の市民からの情報提供の呼びかけと、地域ごとの情報提供先一覧。

2020年5月20日 00時至01時				
患者	個人情報	感染感染経路	確定日	隔離施設
慶南120	金海、女、74年生まれ	海外訪問者	5/16	西山医療院
	保健所保健士確認			

感染が確認された慶南120の移動経路は下記のようにHPで公表されます。

(慶南120 /女/ 74年生/一人居住/確定日5.16 /
馬山医療院で隔離)

- ・推定感染源：海外入国（フランス）
- ・5月14日（木）

仁川空港到着（12:00）→空港喫煙室（12:15）
→金浦空港到着（14:30、外国人特別タクシー）
→金浦空港発金海空港到着（15：30～17：45）→金海市保健所到着検査（19:10、自家用）
→他地域経路（力学的関連性が低い経路と接触者把握が完了した経路で非公開）（20：30～23：00、自家用）→自宅到着（23:40、自家用）
・5月15日（金）

自宅→他地域経路 (05:30~19:20、自家用) →
自宅 (20:30、自家用)

※自宅と周辺防疫消毒完了

- ・5月16日（土）
陽性通報（10:20）→馬山医療院移送（12:10、
保健所救急車）

<http://ncov.mohw.go.kr/> 保健福祉部サイト
<http://www.cdc.go.kr/> 中央防疫対策本部

1997年1月ナホトカ号重油流出事故

池田 豊(京都自治体問題研究所副理事長・事務局長)

1997年1月2日未明、ロシアのタンカー「ナホトカ号」(1万3000トン)が島根県・隠岐島沖で沈没し、積載していたC重油1万9千klの内、約3分の1が流出しました。

8日、京都府は「ナホトカ号タンカー流出油事故警戒本部」を設置。翌9日には、流出した重油が久美浜町(京丹後市)に漂着、その後相次いで旧網野町、旧丹後町にも漂着しました。

重油は原油に比べ粘度が高く水に溶けにくいいため、長期間海に残留します。そのため迅速な回収が急務でした。しかし政府の「ナホトカ号海難・流出油災害対策本部」が設置されたのは、事故後8日目の1月10日。対応が大きく遅れる中、広範囲に重油が漂着し被害は一層拡大しました。

◆京都の労働組合ボランティア



1月13日、丹労連、宮津地労協、舞鶴地労協の3議長名で京都総評に緊急支援要請が出され、労働組合として即ボランティアセンターを設置し、3月まで府内各地から約3000名の重油回収ボランティアが参加しました。

手作業で岩や砂浜表面の油塊を回収し、土のうに詰め、運搬する作業に参加した京都総評、京都自治労連の組合員は、「雪混じりの強風の中、ドロドロになりながらの作業。トイレもなく寒く、さすが冬の日本海は厳しい。」と話しました。

冬の過酷なボランティア活動は、地元を含めた全国からの参加者のうち5名が過労で

亡くなるという二次被害も生み出しました。

二年前の阪神・淡路大震災で大きな役割を發揮した全国からの災害ボランティアは、ナホトカ号重油流出ボランティアでさらに発展し、災害ボランティアの受け入れシステム、行政の災害救援組織との関係、ボランティア活動の補償など、現在の災害支援の在り方につながる大きな成果を残しました。



◆災害支援を通して住民の中へ

労働組合や民主団体にとって、災害時に住民のいのちと暮らしを守る活動は、地域と労働組合との関係を大きく発展させる機会となってきました。

1953年8月南山城水害と9月台風13号による相次ぐ災害、ニッパチ豪雨災害(相楽、綴喜地方で死者・行方不明者336名、重傷者1,366名、被災家屋5676戸)での支援活動は京都における自治体労働組合の原点といえます。

災害発生直後に支援活動を開始した府職組(現京都府職労連)は、この活動を通じて、「組織内に閉じこもるのではなく、地域住民の中へ」方針を提起、その後の府職労D項路線、民主的自治体労働者論へと発展させていきました。

今回の新型コロナウイルスによる被害は、私たちの社会、暮らしに破壊や損失をもたらす災害現象といえます。規模、内容、被害状況、解決の道筋、どれをとっても未知の経験ですが、地域と住民の暮らしを守ることを目指す新たな挑戦が求められます。

研究所第45回通常総会へのご意見をご紹介します

(その1 2020年5月20日到着分まで)

○大変な時期ですが、研究所の発展を期待しています。

○岡田先生の記念講演を冊子にするようにお願いします。配布をお願いします。

○コロナ対策がしっかりなされ、医療の充実でトンネルがくぐり抜けられたら、女性も多い自治体問題研究所をめざしましょう！

○城山台土地裁判は敗けましたが、どう今後の木津川市政に生かしていくかが課題です。コロナ禍の後には真剣に取り組みたいと思います。

○今年は予期せぬことで、仕方ないと思います。しかし総会としては成立しなければなりません。一刻も早く、全世界的に快方に向かってほしいと思います。この際、社会(政治)のあり方を人間(生命)中心主義に切りかえて、人類のあり方をまともにせねばと思います。お互いに元気で！みなさんどうか健康で！（いつもなら懇親交流会で冷たいビールをキュッとやるところですが、今年は残念です。又次のときに！）

※スウェーデンの国会議員との交流、国際的です！存在感あると思いました。

○マスメディアで吉村知事が突出している感がある。安倍首相がひどすぎるためだろうが、持ち上げが気になります。その他も含めての課題と展望を聞きたく存じます。

○「ポスト・コロナ」の世界に関心を持っています。社会の変化、今までと違う社会が出現すると思っています。それにしても金融界の変化情報が少なすぎますね。経済変化の情報です。

○感染防止で活動が制約されていますが、研究所の発展を願っています。

○かつてない事態におどろいています。終息がみえずに（解除がはじまっているとはいえ）再発も予想される事態です。皆様くれぐれもお身体大切に、何ができるかを真剣に考えましょう。

○新型コロナ対策としてやむを得ません。しかし、この時期に、ドサクサまぎれに、検察庁法改正、福島第一原発処理水、種苗法の改正・・・許せません！

○新型コロナの影響が市民・住民にどのようにふりかかったのか、それに対して市民や専門家や自治体に対応したのかの検証が必要だと思います。

○コロナを新しい社会に向けての出発点にしたいです。講演、期待しています。

○コロナ対応やコロナ後の自治体のあり方を深めていただきたいと思います。

○岡田講演を楽しみにしています。

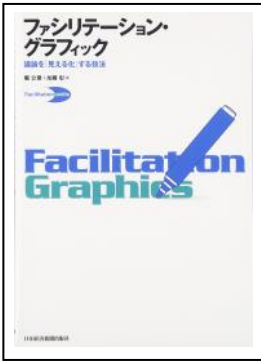
○来年は顔を出したいと思います。

○時代に似つかわしい「ソフトで打撃的なウイルス」だと思います。人に対する配慮は「ニワトリ以下」と私は京都府で鳥インフルエンザ鶏対策現場責任者をやった経験で思います。口先だけで人心をまどわす総理大臣を早く放逐したいものです。

○市長選を聞きましたが、若い人の中に、富井・船橋民主市政を知らない幹部が多く、驚きました。28年の不滅の民主府政はもとより、コロナ禍の下、地方自治の有り様として何を学んだら良いのか、継承の必要を感じています。

「ファシリテーション・グラフィック」

出版社・日本経済新聞社 著者・堀公俊、加藤彰 定価・2000円＋税



「ファシリテーション・グラフィック (FG)」とは、話し合いの内容を、ホワイトボード(WB)や模造紙などに文字や図形などを使って分かりやすく表現して、

「議論を見える化」する技法です。FGの優位性は、●議論の流れやポイントが可視化される、●図表の活用による議論の効率化、●議論のポイントにメンバーの意識を集中できる、●記録によって発言者に「発言が受け止められた」という安心感を与える、●担当者や期限などの確認事項の記録として共有できることなどが挙げられます。

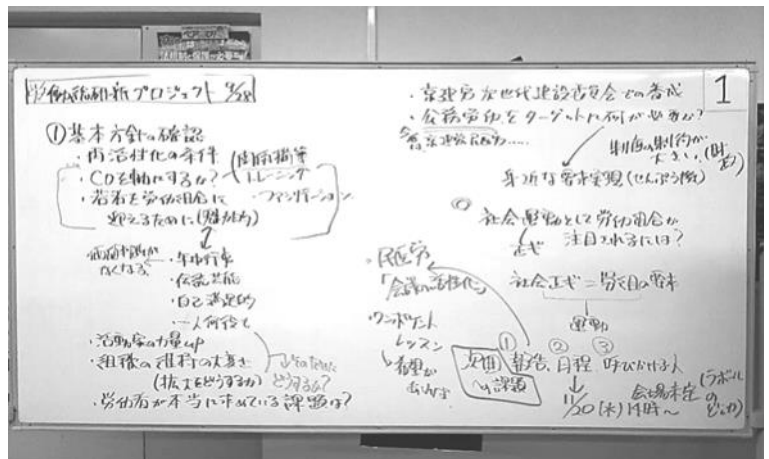
ただ、この優位性は、実践を重ねることによって実感できるものではないかと思ひます。私も最初は「本当に効果があるのか？」と疑念を持ちながら、WBによる記録を始めました。しかし、書けば書くほど効果を実感し、記録が欠かせないものになりました。余談ですが、私がかつて書記長を務めていた京都民医労は、効果を遺憾なく発揮するため、5枚のWBを常備するまでに至りました。

実は記録係は、議論の流

れや要点を整理して書かなくてはならないので、非常に頭を使う作業が求められます。「ひたすら書く」ことも大事ですが、方法論・技術の取得で記録が格段に変化することでしょう。本書には、FGの魅力を紹介するだけでなく、「どうやって書くのか?」、「上手な書き方は?」、「議論や発言の要約の仕方」など様々な技法が紹介されています。

コロナ禍のもと、対面での会議が困難になり、zoomなどを使ったオンライン会議に移行せざるを得ない事態になりました。「ホワイトボードを使う会議が出来なくなった」と悲観するのでは無く、「オンライン会議の中でもどうすれば有効な記録が出来るのか」のスタンスで新しいファシリテーショングラフィックスの開発に努力していきたいと思ひます。

本書は、その視座を私に指し示す一冊です。



新型コロナウイルスの感染が世界中に広がっています(5月5日現在、世界の感染者358万人(死亡者25万人)、日本の感染者は15382人(死亡者566人))。

3月2日から始まった全国一斉の「一律休校」。4月7日には5月6日までの1ヶ月間の東京など7都道府県を対象とする緊急事態宣言が出されました(その後、対象を全国に拡大)。外出と営業の自粛、小中高などの休校、イベント中止、飲食業は夜8時までの営業、出勤者7割減などの各要請が行われました。社会・経済活動のあらゆる分野でかつてない事態が生まれています。2020年ゴールデンウィークは歴史に残るGWになりました。いくつかの事象をカメラに収めました。

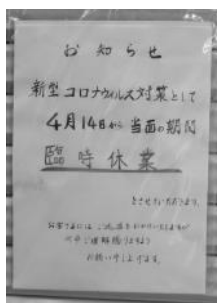
5月1日は労働者の祭典であるメーデーの日。今年は日本で初めて開催された1920年から100年の節目でしたが、残念なことに、全国でも京都でも集会・デモ行進はありませんでした。例年であれば多くの働く仲間が集う二条城前広場、正門も閉ざされ、人影もほとんどありませんでした。(表紙写真)

5月3日の円山公園での「安倍改憲許さない憲法集会・デモ行進」も中止となりました。

5月2日の土曜日午後の錦市場。ここ数年、多くの外国人観光客で歩くこともできないほどの混雑が見られましたが、休業を知らせる張り紙も多く見られ、閑散としていました。



閑散とした錦市場



休業のお知らせ

5月3日の日曜日午後の近所のスーパー。すれ違う人のほとんどがマスク姿です。配布表明(4月1日)から1ヶ月以上たつのにいまだ配布なしのアベノマスク。使いすてマスクは入荷なしの状態がつづき、自衛策として手作りマスクの人も。我が家も作りました。



手作りマスク

レジ前には感染防止のため2mの間隔空けを示す「立ち位置シール」が貼られています。スーパーまでの道すがらには、夜8時までの営業が強いられた飲食業者のみなさんの苦肉の策として「弁当を中心にしたテイクアウトをはじめた」との表示が多く見られました。



立ち位置シール



テイクアウト案内表示

5月4日、緊急非常事態宣言は5月末まで延長されました。5月5日は子供の日ですが、子供たちは3ヶ月もの間、学校にいけないなど深刻な事態が続きます。終息には1年以上かかるとの説もあります。人員削減が強行されてきた自治体のあり方を見直し、コロナ禍を含む災害時にも迅速に対応できる足腰の強い自治体づくりに向けて、研究・提言を進めていきましょう。

事務局通信

第45回通常総会の開催について

第45回通常総会を定款第14条にもとづき、下記の通り開催いたします。

日時:2020年6月19日(金)開会19:00～

場所:京都自治体問題研究所事務所

議案:(1)2019年度活動報告・決算案

(2)2020年度活動方針・予算案

記念講演:『『コロナショック』をめぐる対抗軸と課題・展望』(仮)

自治体問題研究所理事長 岡田知弘

(京都大学名誉教授、京都橘大学教授)

※記念講演は、別途YouTubeで配信を予定しています。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、多人数が集まる例年の総会形式は会場確保もできないことから、きわめて困難であり、できるだけ委任状による出席を前提に、研究所事務所において実施したいと考えていますので、みなさまのご協力をお願いします。

総会への出欠のご返事(委任状の送付)を、5月29日(金)までをお願いいたします。

※ファックス、メールでも受け付けます。

ファックス番号等は本月報表紙に記載

地域から創る民主主義 福岡からの発言

著者:宮下和裕

(福岡県自治体問題研究所理事・事務局長)

発行:自治体研究社

価格:2,200円(2,000円+税)



福岡の歴史と、地域で格闘してきた福岡研の歴史を、著者の鋭い民主主義の視点で語り、地域から未来社会をどうつくるかを論じた秀逸の一冊。

京都研で取り扱っていますので是非お読みください。

85th ツキイチ土曜サロン

- ・開催日 6月20日(土)
- ・時刻 14:00～
- ・場所 京都自治体問題研究所
- ・報告 鈴木元さん

<今月の本>

NHK出版新書『資本主義という謎ー「成長なき時代」をどう生きるかー』
(水野和夫・大澤真幸、13年2月、860円+税)

資本主義は変貌しつつあるのか? それとも終わろうとしているのか?

資本主義とは何か?それはなぜ支配的システムになったのか?資本主義を維持したまま、成長がなくとも幸福で活力のある社会を構築できるのか?16世紀からの歴史をふまえ世界経済の潮流を見据えながら、経済事象のみならず、私たちの生き方をも規定している資本主義のダイナミズムを解き明かし、未来を展望するスリリングな討論!(NHK出版)。

お気軽にご参加下さい

土曜サロンは、参加自由、事前申込不要。終了後、参加者による気軽なワンコイン懇親会を行っています。

5月のツキイチ土曜サロンは休会とさせて頂きました。予定していた河出新書「<格差>と<階級>の戦後史」の報告(報告者・久保健夫さん)は、7月に行う予定です。



手のひらに憲法プロジェクト

URL <http://www.pocketkenpo.com>

<ポケット憲法のお申込み>

Mail info@pocketkenpo.com

TEL 075-211-1161

FAX 075-708-7042